

説明会後のアンケートにおけるQ&A

	Question	Answer
1	参加形態として、個人参加ではなく、組織としての参加も良いかどうか、改めてご検討を賜ればと思います。	現段階では、名簿の管理上、個人での参加とさせていただきます。組織としての参加については、今後検討させていただきます。
2	HPや協議会外での社名の公表はありますでしょうか。現在参加を検討中ですが、社名公表の有無により、社内手続きが異なるためです。	参加者の個人情報の取り扱いについては十分注意いたします。今後、組織としてご参加いただく形態に移行した場合には、社名公表の可能性もございますが、個人で参加いただく場合には、社名の公表はございません。社名の公開に備え、登録の際に予め社名公表に関して可否をおたずねさせていただきます。
3	FIRMでもMPSに関する部会の立ち上げがあるとの情報がございます。本協議会におきましてはFRIMとの連携について伺いしたいです。	本協議会代表とFIRM関連部会の間で連携することを確認したところでございます。具体的な連携方法については今後話し合われる予定です。
4	将来的に、開発メーカーやCROも参加して、同一プロトコルでデータ収集などされると思いますが、その際はできるだけ門戸を広げて様々な企業が参加できるようにしていただければと思います。	広く募集することを考えております。現在作成中の本協議会ホームページ等でご案内させていただきます。
5	現在あくまでも個人レベルの参加という構造と理解していますが、協議会の活動内容や成果が、一定の期間でもconfidentialなものなのか、その場合所属組織への情報の展開に制限がありうるのか、ご教示いただければ幸いです。	本協議会で得られた情報については、学会等で得られた情報と同じ取り扱いと認識しております。基本的には、協議会の規約や組織決定などをもって開示可能な情報のみを成果として公表することになります。
6	協議会に入会することにより、横の繋がりにく加えて、AMED主体で検討したデバイスの使用が容易になりますでしょうか。	本協議会は、立場の異なる産官学の人間が広く交流できる場を提供したいと考えております。AMED主体で検討しているデバイスの使用については、協議会からご紹介をさせていただきますが、最終的には開発企業様と個々でお打ち合わせいただければと存じます。
7	MPS技術をガイドラインへ組み込み、行政として行っていくことを目標にしていると認識していますが、医薬品や化学物質の毒性や安全性を確認する CRO 業界への MPS 技術導入は考えていますか？	CRO業界への技術導入はMPSが社会実装されることにとって重要な点と考えております。製薬業界のみならず化学物質の評価などCRO様の取り扱い業務や食品業界等、幅広い業界にMPS技術が導入されることを目指しております。
8	昨日のご説明ではシンポジウム運営のための「会場費」を負担頂きたいというお話だったと思いますが、会場費＝参加費（PDF資料記載）でよろしいでしょうか。1社につきいくら、といった感じでしょうか。それとも1名につきでしょうか。参考までにおおよその費用がわかりましたら、ご教示頂ければ幸いです。	会場費＝参加費との認識で問題ございません。現在、本協議会には個人単位で参加いただいていることから参加費についても個人単位とさせていただきますと存じます。当面はAMED予算での手当を考えており、実費程度になるよう努めます。
9	エキスパート以外でも、新規デバイスができた際には、それを用いた試験の参加は可能でしょうか？あるいは、ガイドライン化に向けたバリデーションに参加可能でしょうか？	新規デバイスのご提案も受け付けますが、ご提案の際に要件を満たしているか等ご相談ください。バリデーションの実施は、経験のある施設にお願いすることが基本になりますが、それに限らず参加機関を募らせていただく予定です。
10	標準細胞の設定や運用についての議論を行うご予定はあるのでしょうか。予定がある場合、どのように設定や運用を進めて行くか、方針などはあるのでしょうか。	標準細胞や運用については、タスクフォースにて議論をすることになります。現在、タスクフォースの人選を進めております。方針や予定は決まりましたら随時協議会全体にご報告いたします。
11	基本はMS-plateとFluid3D-Xの実用化の為の会議という理解は正しいでしょうか？	タスクフォースとしては、現段階で主に扱うデバイスはMS-PlateおよびFluid3D-Xとなりますが、これら以外にも社会実装および行政利用に耐えうるデバイスと細胞の組み合わせについて広く議論を行っていく予定です。年1回のシンポジウムでは2つのデバイスに限らず、アカデミアや企業様から広く発表をしていただこうと考えております。
12	上記質問4の選択肢ですが、『毒性』と『安全性』の違いは何でしょうか、一方は『薬理評価』の誤りでしょうか。	紛らわしい記載で申し訳ありません。『安全性』はICH-S7薬理試験を想定しております。
13	入会することのメリット・生じるコストや責任を知りたい。	コストとしては、年1回のシンポジウムの際に、会場費を一部ご負担いただく形を考えております。参加のみであれば責任は生じません。メリットについては、キックオフの際にご提示できるよう準備を進めております。

14	加入が法人としてなのか個人としてなのかも知りたい。	現段階では、名簿の管理上、個人での参加とさせていただきます。組織としての参加については、今後検討させていただきます。
15	実用化の際に、システムに要求される規制があれば見込みでも教えていただけないでしょうか。	現段階では、該当はありません。進捗がありましたらご報告致します。
16	実用化に向けて事前に規制や要求の情報が公開され、海外企業向けにも情報提供されていくのでしょうか。	最終的には、標準化を目指しますので、海外企業向けに情報提供をして参ります。事前の公開は状況に応じて協議になると思われます。
17	先日の説明会に参加していなかった弊社研究員を協議会に入会させたいと考えているのですが、どのように申し込みばよろしいでしょうか。	協議会のアドレス (mps-kyogikai@nihs.go.jp) までご連絡いただければ、登録させていただきます。
18	入会は個人単位でしょうか、会社単位でしょうか。	現段階では、名簿の管理上、個人での参加とさせていただきます。組織としての参加については、今後検討させていただきます。
19	協議会への参加は個人単位でしょうか、もしくは研究所または社単位で考え、代表者が入会との形をとれば宜しいでしょうか。	現段階では、名簿の管理上、個人での参加とさせていただきます。組織としての参加については、今後検討させていただきます。
20	年会費は発生せず、シンポジウム運営の参加費が生じるとのことですが、いかほどを想定されていますでしょうか。(個人の学会参加費相当なのか、それ以上なのか大まかで結構です)	会場費 = 参加費との認識で問題ございません。現在、本協議会には個人単位で参加いただいていることから参加費についても個人単位とさせていただきますと存じます。当面はAMED予算での手当を考えており、実費程度になるよう努めます。
21	意見交換会 = シンポジウムということなので、意見交換会は実質年1回という理解で宜しいでしょうか。 その場合、現時点で参加表明をしていないとシンポジウムのご案内は頂けないということになりますか。	意見交換会・シンポジウムは、年1回の開催を予定しております。直近ですと、8月にキックオフシンポジウムを開催予定です。意見交換会・シンポジウムにつきまして、ご入会者でなくても(検討中でも)ご参加いただけるよう配慮させていただきますが、会場の大きさの関係上、ご入会者を優先してご参加いただくこともございます。
22	本協議会に入るからこそ出来ることが良く分かりません(もちろん、情報収集・交換の場を得ることが出来ることは認識していますが、他の学会でのセッション等との違いなど)。この推進協議会でのみ可能となることがございましたら、ぜひ次回計画されているキックオフシンポジウムで明示頂けると幸いです。	ご指摘の点については、現在どんなことが可能かを検討中です。キックオフの際に提示させていただきます。